

ガジャマダ大学「国際大学交流セミナー」実践報告

ー短期研修コースにおける日本語講義ー

愛知県立大学非常勤講師 加藤 淳
国際関係学科 東 弘子

はじめに

愛知県立大学では、独立行政法人日本学生支援機構の「平成 23 年度国際大学交流セミナー¹」に採択され、学術交流協定を締結しているガジャマダ大学(インドネシア、ジョグジャカルタ)を交流大学として、2011 年7月 19 日から7月 31 日までの 13 日間にわたりセミナーを実施した。セミナーのテーマは「環境問題における多文化間の協力と共生」である。交流大学のガジャマダ大学からは、10 名の学生と3名の教員が招聘された。主催大学である愛知県立大学は、実施責任者である小座野八光(外国語学部准教授)、高地薫(多文化共生研究所共同研究員／非常勤講師)、加藤淳(多文化共生研究所共同研究員／非常勤講師)の3名が実施の中心的役割を果たし、その他多くの教員、事務職員、学生の協力によって「国際大学交流セミナー」の名にふさわしい交流事業が行われた。

本稿では、その 13 日間のセミナーのうち、大きな位置づけを占めた「日本語講義」(すべての授業について筆者(加藤)が担当)の実践報告をするとともに、アシスタント学生の位置づけなどの課題について言及したい。

1. セミナー参加者とそのニーズ

国際大学交流セミナー参加学生 10 名は、ガジャマダ大学人文学部日本文学科の成績上位者 9 名と工学部の成績優秀者 1 名が、実施責任者の現地面接を経て選抜された。日本文学科の学生は、日本語能力試験 N1 合格者 2 名、N2 合格者 4 名を含め、日本語コンテストなどで優秀な成績を収めた経歴をもつ学生である。

日本語講義の授業計画を立てるにあたり、日本語習熟度および、本セミナーに対するニーズを把握するため、渡日前に自己紹介文を作成して提出することを求めた。文章表現から見ると、助詞や名詞の間違い、ひらがなとカタカナの混同、PC での変換ミスを含む漢字表記の間違いなどがあることがわかったが、一般化できるものではなく個別的な指導が必要なことが予測された。また、渡日への期待としては、日本の文化や環境に触れたい、在籍する学科の研究に関わる資料を調べたい、日本語を使って討論したい、日本語で話す友達を作りたいといったことがあげられており、日本語学習そのものより、日本語を使っての活動や交流に期待が寄せられていることが確認できた。このことから、日本語講義の中に「日本語で会話する」アシスタント学生を配することが、効果的な学習及び交流活動にとって必要であると判断した。

¹セミナーの趣旨など、詳細については募集要項を参照。

<http://www.jasso.go.jp/exchange/daigakukouryu.html#mokuteki>

2. セミナー全体のスケジュールと日本語講義

前述のように、本セミナーのテーマは「環境問題における多文化間の協力と共生」であり、「環境問題に関する講義・講演及び学生間討論を通じて、主催大学と交流大学双方の学生が日本とインドネシアの政治・経済・文化の相違と共通性を理解し、今後の研究に生かすこと」が目的である。それに基づき、学内外の専門家による講義・講演、文化施設・企業・工場等



への見学、学生間の討論会、地域住民との交流などの活動が計画された。日本語講義はセミナーで学んだ成果をスピーチ発表することを修了課題とし、セミナーにおける活動や日本での生活に必要な日本語をサポートし、また自国で学んできた日本語を日本で運用する経験を通して更なる学習につなげていくことを目標として、12回の講義を計画した(〈表1〉)。

〈表1 平成23年度国際大学交流セミナー日程表〉

日付	時間	内 容
7 / 19 ・ 火	10:00 12:00 13:00-14:30 14:30-16:00 16:00	中部国際空港着【小座野】 大学宿舎 到着 オリエンテーション【小座野・高地】(B108) <u>日本語講義(1)</u> (自己紹介 学生アシスタント紹介)【加藤】(B108) チューター学生との交流食事会
7 / 20 ・ 水	10:30-12:00 13:00-17:00 17:30	開講式(多目的ホール) 鉄道博物館見学【小座野】 チューター学生と買出し
7 / 21 ・ 木	8:50-10:20 10:30-12:00 12:50-14:20 14:30-16:00 17:40-18:40	<u>日本語講義</u> (DVD(ジブリ)視聴)【小座野・高地】(B106) 愛・地球博記念公園(さつきとメイの家)見学【小座野・高地】 <u>日本語講義(2)</u> 【加藤】(文化交流室) <u>日本語講義(3)</u> 【加藤】(文化交流室) 日本人学生とのディスカッション(ハラル研究)(文化交流室)
7 / 22 ・ 金	8:50-10:20 10:30-12:00 13:00-15:30 16:00-17:40 18:00	日本語ノート作成 日本事情(文化)【高地】(B209) 日本事情(文化)【高地】(B209) <u>日本語講義(4)</u> 【加藤】(G003) 学生主催による留学生交流パーティー 中集会室
7 / 23 ・ 土	9:50 出発 11:45 15:30 16:00	産業技術記念館見学【高地】 清水前理事長特別講義「愛知の自動車産業」 長久手町役場まちづくり推進部 藤が丘【高地】 ホームステイ(長久手町)
7 / 24 ・ 日	10:00 11:00 12:00-16:00 17:00	ホームステイ先から長久手町エコハウス エコハウスにてゴミの分別作業手伝い【高地】 トヨタ自動車本社工場(元町工場～トヨタ会館)見学【高地】 チューター学生とのディスカッション

7 / 25 ・ 月	8:50-10:20 10:30-12:00 13:00-17:00	<u>日本語講義(5)</u> 【加藤】 (H401) <u>日本語講義(6)</u> 【加藤】 (H401) 農業総合試験場 環境に関する農業研究のDVD と講義
7 / 26 ・ 火	8:50-10:20 10:30-12:00 12:50-14:20 15:00-17:00	<u>日本語講義(7)</u> 【加藤】 (H401) <u>日本語講義(8)</u> 【加藤】 (H401) 「ISO 認証について」【(株)ビープロシード代表山田英代】 (H310) ISO について日本人学生とのディスカッション
7 / 27 ・ 水	8:00-9:30 9:30-11:00 11:10-12:10 12:50-14:20 15:00-17:00	国際法についての予習 【高地】 日本事情(文化) 【中島】 (B206) 日本事情(文化) 【宮崎】 (B206) 国際法特別講義 「京都議定書について」【高島副学長】 (特別会議室) 日本語レポート作成
7 / 28 ・ 木	8:50-10:20 10:30-12:00 12:50-14:20 14:30-16:00	<u>日本語講義(9)</u> 【加藤】 (文化交流室) <u>日本語講義(10)</u> 【加藤】 (文化交流室) <u>日本語講義(11)</u> 【加藤】 (文化交流室) 日本人学生とのディスカッション 【小座野・高地・亀井】 (文化交流室)
7 / 29 ・ 金	8:50-10:20 10:30-12:00 12:50-14:20 16:10-17:40	施設利用(学内 C棟・図書館) 社会見学 長久手町内 <u>日本語講義</u> (研究発表のためのまとめ 自習) <u>日本語講義(12)</u> (研究発表準備) 【加藤】 (B213)
7 / 30 ・ 土	8:50-10:20 10:30-12:00 13:00-14:30 15:00-16:00 16:30	<u>日本語講義(13)</u> (研究発表準備) 【加藤】 (小ホール) <u>日本語による研究発表会</u> 【加藤・東】 (小ホール) 意見交換会 閉講式 修了証書授与 (多目的ホール) 送別会 (生協喫茶室)
7 / 31 ・ 日	6:00 8:00 10:30	〈帰国〉 大学出発 中部国際空港 帰国便

3. 日本語講義の日程と内容

日本語講義にあたっては、以下の3つを目標とした。

1. 日本で生活しながら楽しく日本語を使えるようにする。
2. 日本語で文化や環境についての講義を受けて、自分の意見を日本語で話したり書いたりできるようにする。
3. 日本語でスピーチ発表ができるようにする。

セミナー全体のスケジュールとの関連から、以下のように、活動をおおまかに3つに分けた。

●日本語講義 第1回～第4回 (7月19日(火)～22日(金))

ホームステイまでの4回の授業を「日本に慣れる、日本の文化を体験する」活動として、自己紹介やDVD『となりトトロ』を題材とした授業、俳句(川柳)づくりとした。

- (1) 「自己紹介」 学生アシスタントと知り合う。

- (2) DVD『となりのトトロ』活動を日本語表現に繋げる。
- (3) DVD『となりのトトロ』文化や環境について話す。
- (4) 俳句(川柳)をつくる。

●日本語講義 第5回～第8回 (7月25日(月)～26日(火))

学外活動やホームステイ先での体験の発表と、ホームステイ先への礼状作成を課題とした。

- (5) ホームステイについて話す／書く。
- (6) 日本について興味を持ったことを話す／書く。
- (7) ホームステイ先への手紙／話す。
- (8) ホームステイ先への手紙／書く。

●日本語講義 第9回～第13回 (7月28日(木)～30日(土))

スピーチ発表に向けての準備を主活動とした。

- (9) 活動記録・講義記録からキーワードを探す。
- (10) キーワードをもとに文を書く／発表・修正。
- (11) 発表原稿を書く／読み合う。発表／聞いて質問。
- (12) スピーチ発表練習／質問する。
- (13) スピーチ発表直前のリハーサル。

こうした日本語講義での活動の最後に、本セミナーのまとめとして、研究発表スピーチを実施した。発表時間は一人3分以上とし、発表には参観者を招き、ビデオ撮影もすることとした。

4. 実施記録

ここでは順を追って、日本語講義の授業内容と目的、実践の記録を示す²。その上で、学生の気づきについての紹介などから、アシスタント学生の授業への関わりについても報告する。アシスタントとして参加した学生は計28名で、副専攻課程である日本語教員課程を履修中の学生または国際関係学科の学生である。日本語教員課程担当教員の筆者(東)の呼びかけに応じて、自主的に応募してきた学生たちである³。一人あたり1回～3回の参加であった。

4. 1 第1回から第4回 -日本到着から日本の文化体験-

第1回 (7月19日(火) 15:30-17:00)

ガジャマダ学生(以下ガ学生): 10名, ガジャマダ大教員3名

県立大日本人学生: 6名, 県立大留学生: 10名

授業担当教員以外の県立大教員: 5名

授業内容: 口頭での自己紹介／アンケートに答えて作文を書く

授業目的: 互いに知り合い、日本語で話して、書く

悪天候(台風6号)の影響でインドネシアからの飛行機の到着が遅れるというアクシデントがあり、授業は15時30分からの開始となった。到着直後の最初のクラスであり、歓迎の気持ちも込めて、実施に関係する教員やアシスタントをする予定の学生が、可能な範囲で参加し、顔合

² 第1回から第3回までの授業は、天候や移動時間の都合により予定時間(表1)の日程表とは異なる部分がある。ここでは実施実績に基づいて記載している。

³ 日本語教育についての学習歴は問わないで募集したが、アシスタント担当を割り振る際に、一つのクラスに日本語教育実習の経験者ができるだけ1名以上入るように配慮した。

わせをした。

自己紹介

実施責任者と日本語講義担当者の挨拶の後、ガジヤマダ大学からの引率の教員を紹介した。次にガジヤマダ大学の学生にフルネームとニックネーム、そして好きな食べ物を日本語で発言させ、ホワイトボードにニックネームをカタカナで表記していった。インドネシア語の名前には日本語話者には聞き取りにくい音があり、また非常に長い名前もあることと、事前に提出を求めた作文の表記のゆれを発音と表記から確認するためである。



アンケートに答えて作文を書く

次に、県立大の学生(日本人学生と留学生)にも自己紹介をうながし、それぞれガジヤマダ大学の学生とペアまたはグループになって作文「ようこそ日本へ！」の設問「今日あなたが体験したことを話してください／日本はどんな国だと思いましたか／日本にいる間にぜひしたいことを書いてください」に基づいて話し合い、それを日本語で書いた(〈資料1〉)。ガジヤマダ大学の学生2名を指名し、書いたものを読み上げ口頭発表をさせた。

授業の最後に、今後、本セミナーにおけるすべての講義や活動について記録し、宿題として毎日提出するように指示した。活動を日本語でまとめ、日本語講義の中でも確認することにより、知識も日本語表現も、より定着すると考えたからである。

「交流」をキーワードに

日本への到着直後に授業を組み込んだのは、13日間という短い滞在期間中にできるだけ多くの交流の機会が得られるよう、日本語を使う環境にシフトする場を提供するという教育上の観点と、授業のアシスタントに入る日本人学生との交流という観点からである。なお、すでに県立大学で学んでいる留学生(特別聴講学生4名、大学院研究生4名、学部留学生1名、大学院生1名)も参加した。授業は1時間遅れての開始となったが、ガジヤマダ大学の学生の到着を待つ間、教室に集まった留学生と日本人学生は互いに自己紹介をし、大学や日本での生活について会話して過ごした。その結果、特別聴講学生、研究生といった留学生同士や留学生と日本人学生が知り合う機会にもなった。こうした機会が、その場にいた留学生と日本人学生にとっての副次的な学習効果を生んだにとどまらず、ガジヤマダ大学の学生に日常的に声をかけたり、ディスカッションに留学生も参加したりと「全学的な交流の意識」として波及的な効果をもたらしたことを添えておきたい。

第2、3回(7月21日(木) 13:30-14:00、14:10-16:40)

ガ学生：9名(第2回～7回までは工学部の学生は別メニューの学習となっている)

アシスタント学生(以下ア学生)：0名

授業内容: DVD『となりのトロ』聞き取り、「探し物」課題の発表

授業目的: 活動(愛・地球博公園(さつきとメイの家)見学)を日本語でまとめる
環境や文化について、日本語で話す・聞く、書く・読む

活動と日本語講義

DVD『となりのトロ』を視聴後、愛・地球博公園へ行き「さつきとメイの家」を見学するという活動を日本語表現力につなげるための仕掛けとして、予め「探し物」の課題を用意した。DVD や

〈資料1〉日本語講義初日の作文

ようこそ、日本へ！ Selamat datang ke Jepang！

7月 19日 名前 (パラマストリ・アルタナレスワリ)

今日あなたが、体験したことを教えてください。
日本に行くのははじめてです。とてもワクワクしていました。でも、飛行機に乗ると、
気分がすぐわるくなります。はじめて飛行機に乗ると、そのいたみははじめて感じて
いました。耳を痛くて、頭もいたくなっていました。そして、このflightで、turbulenceが
なかなか止まらなかったです。たいふうがあるからでした。とてもきもちいしかったです。
そのflightをたのしくするのはあまり出来ませんでした。
日本について、monorailを乗りました。けいしきがとてもきれいで、すごくたのし
かった。バスよりたのしいと思います。

日本はどんな国だと思いましたか。
本当にきれいな国だと思います。道には、ごみは全くなくて、とてもびくりに
はまっています。このはしで、ごみはありません。インドネシアとちがいます。
そして、日本の人々はしんせつだと思っています。私達とはじめて会っても、色々
話をしてくれました。えがおもとてもきれいなと思います。
前は、ずいぶん日本はどこにも大きな店と会社はあるはずだと思っていました。でも、日本
について来た時は、たけはまたたく人あります。くさくさとして
フレッシュな空気はよくあります。しずかで、どこにも行くのはべんりたずら。
ここに住みたいです。

作成/加藤 2011.07.17

日本にいる間に、ぜひしたいことを教えてください。
たくさん友達を作りたいです。インドネシアには、日本人の友達が多い
だけいるから、日本にたくさん友達を作りたいです。日本語の能力をためないと
思いますから。一緒に色々なことをしたり、色々な戸へ行きたいです。
そして、日本のおいしい料理たくさん食べて、ショッピングして出来るよ
いと思います。
たくさん日本文化を体験したいです。

作成/加藤 2011.07.17

ようこそ、日本へ！ Selamat datang ke Jepang！

7月 19日 名前 (スラストリニシー)

今日あなたが、体験したことを教えてください。
今日、びっくりしたことが台風でした。飛行機機にありてから外にある小雨
がみえます。しかし、空港にでてからすごい風をふくので、みんな
びっくりしています。その他、愛知県立大学へ行く時はバスで
行かなければなりません。日本のバスにのるのははじめての体験です。
バスのルールは本当にわかりました。インドネシアでは知らないルールは
知っています。それ上、バスの距離の以外は名古屋の電車です。運
転手は優しくも動きます。それで、帰ったらおうちで話します。

日本はどんな国だと思いましたか。
日本は旅行のことが最高だと思っています。そして、人々に
言いたのは、今日は、電車にのってから運転手はじかなくてもマクネットが
動いているです。日本の空気が暑くないと思います。きれいだと思います。
たのしいです。日本へ行く前に友達が「最近、日本は
本当に暑いです。だから気をつけてください」と言います。そのときは、しんぱん
しんぱん、今日、たいふうだと思っています。しんぱんが、いはいのです。

作成/加藤 2011.07.17

日本にいる間に、ぜひしたいことを教えてください。
日本にいる間に、ぜひしたいことは、旅行のガイドブックを買って旅を
することです。旅行をしながら、日本語を勉強します。それ上、旅行で勉強
だけでなく、新しい友達もたくさん出来るからです。また、旅行では
アイスクリームを食べたいです。友達によって、日本のアイスクリームがおいしい
からです。

作成/加藤 2011.07.17

ようこそ、日本へ！ Selamat datang ke Jepang！

7月19日 名前 (グレイット・ブスバニン・グナ)

今日あなたが、体験したことを教えてください。

今日は飛行機を着陸する直前は降りました。その時ちょうど台風がありました。

飛行機はよく揺れました。それに、乗降がかわるかな。はじめてみました。でも、それは

ラストマイルがなくて、手振ってました。乗降がよくなりました。

他の日は藤ヶ丘から愛知県立大学に行っている時です。Linimoという乗り物は

乗りました。最初は地下鉄だと思いましたが、~~それは~~でも、その乗り物はとらうて

地下を出て、地上を走りました。神田の説明によると、それは「Linimo」で「ネット」の

せいで使っている乗り物で、すごく速いものなんです。その時、それは高校のとき勉強した

ことと関係があると思いましたが、~~それは~~

日本はどんな国だと思いましたか。

名古屋に来る前に、名古屋に住んでいる母の妹が「名古屋はたに在る、なつは

大東のついで」と言いました。でも、来る日にちょうど台風がありました。私に会うことと思

えて、空港から藤ヶ丘にバスで行った時、この日本人の家を見ました。私を連れて、

住みかくなりました。それに、空港から愛知県立大学までいる日本人のわがものを

私をスウェットが可愛いと思えます。それに、よく「おん、おん」とか「おん、おん」と

とこの中がさけました。

作成/加藤 2011.07.17

作成/加藤 2011.07.17

日本にいる間に、ぜひしたいことを教えてください。

記念公園の桜を見たいです。そして、温泉に入りたいです。

他には、初めて日本に来た時は、福島のセミナーに参加しました。その時、すごく楽しくて、

友達もいっぱいできました。それで、今回のセミナーで楽しんで、ぜひ友達を出したいです。

ようこそ、日本へ！ Selamat datang ke Jepang！

7月19日 名前 (マク)

今日あなたが、体験したことを教えてください。

今日は、飛行機を飛ばしたときに台風が吹きました。私ははじめて

台風を体験しました。でも、なんと面白く思いました。日本人の友達はほとんど

最近の日本の夏はすごく暑いんです。今日は台風が来て、上った

と思っています。涼しいな、なつかしいと涼しいです。そして今日は

はじめて、和風の家に住みか、入って、感動しました。和風の家はすごくきれ

いと思います。さらに、日本にいる間にこの和風の家に住みたいと思っています。

ほんとにうれいんです。

日本はどんな国だと思いましたか。

日本は田舎の国です。空港から大学まで、すごく田舎かみえなりました。

ですけど、日本には日本人がなくて、自動で動く物がたくさんあって、たとえば

コンビニの自動販売機とか自動のクランの自動ドアのような物があります。ほんとに

びっくりしました。すごいと思えました。

作成/加藤 2011.07.17

作成/加藤 2011.07.17

ようこそ、日本へ！ Selamat datang ke Jepang！

月 日 名前 (インドネシア・ムスリカ)

今日あなたが、体験したことを教えてください。

今日は初めて台風にでくわした。

・カモシロを飲みました。

・飛行機とリモに初めて乗りました。

・色々な国から来た留学生と会いました。

・今日の昼ご飯は唐揚げを食べました。おいしかったので

日本はどんな国だと思いましたか。

・きれいな国だと思います。

・中部空は思っていたより空いていました。

・グリーンな国だと思います。

・人々は親切だと思います。

・愛知県立大学は大きくて、静かな大学だと思います。

作成/加藤 2011.07.17

作成/加藤 2011.07.17

ようこそ、日本へ！ Selamat datang ke Jepang！

7月19日 名前 (イクト・ハサン)

今日あなたが、体験したことを教えてください。

今日日本に来て思ったことはたくさんあります。例えば、日本はきれいな

国、美しい国、安全な国だと思いました。今日はバスとリニ

スモーターに乗りました。ちなみにリニスモーターに乗るのは初めてです。

実は前からリニスモーターに乗りたいと思って、今日乗れてすごく

うれしかったです。初日に良い出会いに会いました。

日本はどんな国だと思いましたか。

日本はきれいな国や美しい国や安全な国などと思いました。

外国人にとって日本は素晴らしいです。インドネシアから見る私

は日本にはインドネシアにないものが多いと思います。

作成/加藤 2011.07.17

作成/加藤 2011.07.17

日本にいる間に、ぜひしたいことを教えてください。

・夕日を見たいのです。

・きれいな所を散歩して、写真を撮りたいと思っています。

・尺八や琴を買って、弾けるようになりたいのです。

・着物を着てみたいのです。

・色々な日本料理を食べてみたいのです。

日本にいる間に、ぜひしたいことを教えてください。

日本にいる間に、したいことは日本一見したいと思いますが

やはりおりのようです。今は名古屋にいたのでぜひ名古屋に

有名な所に行ってみたいです。名古屋ならではの食べ物も

味わいたいです。

ようこそ、日本へ！ Selamat datang ke Jepang!

07月19日 名前 (ワフユ・ハンパニ・スティアンシー)

今日あなたが、体験したことを教えてください。

私は日本へ行くのは今回初めてです。飛行機乗にあることも初めてです。
今日一番びっくりしたのは台風です。台風で飛行機はおとくなりまして、
エアポートには風がはげしくなると、こわおたと感じました。

日本はどんな国だと思いましたか。

日本は面白い国だと思いき、道をわたるときにしんがいて、あんまりと
感じました。しゃぶしゃぶの肉を食べていることも、インドネシアとちがうのは食べた
学生は自分のテーブルを片づけて、面白いと思いき、道にも公共サービスにも
ごみがない、きれいだと思います。

作成/加筆 2011.07.17

日本にいる間に、ぜひしたいことを教えてください。

インドネシアにうってない本を買いた。日本語講義をせんかして、日本語スキル
を高め。

作成/加筆 2011.07.17

ようこそ、日本へ！ Selamat datang ke Jepang!

07月19日 名前 (アリス・ラフマン・アラマナタ)

今日あなたが、体験したことを教えてください。

今日は日本へ行きました。一番びっくりしたのは、日本は小さい島が
あるのにおおきかったです。また、Limoのあと、藤ヶ丘の愛地球博記念公園
まで、Limoはすごいビルだと思いき。

日本はどんな国だと思いましたか。

日本はすごい国で、いろいろな文化のありさ、人々はしんせつだと思いき。
日本に来たのが、日本とTokyo Towerを見たい、それでいろいろな文化も
も見たい、日本はとにかくすげえ。

作成/加筆 2011.07.17

日本にいる間に、ぜひしたいことを教えてください。

日本にいる間に、いろいろなことをしたい。東京タワーを見たい、日本の文化も
も見たい、日本ではなにがないがすぐ行かれるのでぜひ見たい。

作成/加筆 2011.07.17

ようこそ、日本へ！ Selamat datang ke Jepang!

7月19日 名前(サトウ)
ムハムド サトウ ムハムド サトウ

今日あなたが、体験したことを教えてください。
今日、日本に行く時台風6号が九州に上陸したので、飛行機が
キャンセルされました。ジェットコースターに乗りました。リネモにのり
おどした事はうてんしゅがないことです。さかいはすごいですね。

日本はどんな国だと思いましたか。
日本はサムライの国だと思いました。よろいをきて、こしに
刀を下げるのがにらびょうでした。しし、それはただの私のくじょう
でした。じぶんはインドネシアとかわらず、~~ここ~~もみだしを
日本と同じです。

作成/加藤 2011.07.17

日本にいる間に、ぜひしたいことを教えてください。
1. 名古屋ように行きたいです。名古屋ようにてふしうの

ゴスフレと会い、モルンをとります。

2. 長久手に古戦場に行き、剣道をたどりたいです。

3. 天むすを食べたいです。同じくさしめん。

4.

作成/加藤 2011.07.17

ようこそ、日本へ！ Selamat datang ke Jepang!

7月19日 名前(ワコユ)

今日あなたが、体験したことを教えてください。
Today we arrived in Nagoya, this is my first time in Japan. I think
Japan is very nice country. Today in Nagoya cloudy and sometimes rain.
We go to Aichi University we use a bus. I see some places.

日本はどんな国だと思いましたか。

作成/加藤 2011.07.17

「さつきとメイの家」に登場するものから「井戸、雨戸、手押しポンプ、押し入れ、洗濯板、風呂、お便所、桶、階段」を取り上げ、学生一人ずつに個別の課題を割り当てたハンドアウトを用意し、見学しながら課題に取り組むように指示した。

「聞く／話す、読む／書く」全ての技能を使う授業

授業開始の段階で DVD 視聴が完了していなかったため、課題の確認も兼ね、40分間を DVD 鑑賞に当てることとした。DVD 視聴後に、時代背景や登場人物の特徴を話し合っ確認し、内容を文にして記入させ、口頭での表現を文章にまとめる練習をした。さらに、主題歌を聞いて空白に穴埋め式に記入するといった方法で、聞き取り能力を確認した。

次に、個別に課した「探し物」を絵に描きそれをもとに説明文を作るという、言語運用の活動を行った。具体的には、ペアでパートナーの書いた文を読み合い、書いた本人に質問をして語彙や文法の修正を行った。最後にパートナーが書いた文を読むという形でクラス発表をし、どんな「探し物」が課題となっていたのかをクラスで当てるという方法で説明文の確認をした。

さらに、語彙や文法項目をクラス全体にフィードバックして、使い方の説明を加えた。例えば、「洗濯しながらおしゃべりする」「おしゃべりしながら洗濯する」といった「～ながら～」の形式を取り上げて前件と後件の関係を説明した上で、「井戸端会議」を説明するにはどちらが適切かを話し合うなどである。学生からは「洋室／和室」と「洋画／邦画」に見られる「和」と「邦」の使い分け、同音の漢字の使い分け、カタカナ表記と発音など、文字そのものではなく語彙・意味にかかわる質問が多く出た。

日本語を使っでの話し合い

さらに、インドネシアにも親の世代までは「手押しポンプ」や「洗濯板」があったが、若い学生は見たことがない、課題には出ていなかった「かまど」はインドネシアにも似たものがある、日本の桶には取手がないがインドネシアの桶にはある、「便所」は両国で様式が似ているが日本の「便所」には専用のスリッパがあるのはなぜか、「風呂」はどうやって入るのか水温調節はどうするのか、といった文化比較から環境問題に関わる話し合いにも発展した。また、「かくし扉」や「かくし階段」など自国で興味を持っていた時代小説の話なども飛び出した。

教師の役割

本セミナーにおける日本語講義は、教室外活動と教室内での日本語運用をつなぐことを目標としている。こうした学習者中心の実践では、教師の役割はファシリテーターである。そこで、ペアワークの際には巡回して学生同士の気づきが生じるようなキューを与えるなどを心がけた。また、全体に長音や促音の脱落及びアクセントなどの発音や助詞の交代などがみられたが、重大な間違い以外は修正を行わずコミュニケーションを促すことに重点をおいた。

第4回（7月22日（金）16:10-17:40）

ガ学生：9名， ア学生：3名， ボランティア学生：1名

授業内容：俳句（川柳）を作る

授業目的：日本での生活をアシスタント学生に話す

日本文化に触れる（季語と俳句、縦書き表記、筆ペン）

日本語の「拍」の感覚に気づく

第4回の授業からアシスタントが入る授業となる。7月22日は3名のアシスタント学生に加え、英米学科に所属するインドネシア人留学生1名がボランティア参加した。はじめにクラスを3つ

のグループに分け、1グループに1名のアシスタント学生が入るようにした。

日本での体験を話して俳句（川柳）を作る

はじめに、俳句の拍と季語を簡単に説明し、有名な俳句を発音して拍の取り方を練習した。次に「いつ／どこで／だれが／(なにを)する／どんな／なに」という項目に名詞や動詞、形容



詞、副詞などを入れるシートを渡し、これまでの日本での生活や経験したことを自由に話しながら、拍をとって俳句(川柳)にしていくことを指示した。30分後に俳句を書くための短冊に、筆ペンで縦書きで書くように説明した。さらにグループ内で発表して一人2句を選び、発表用の色画用紙に貼るように指示した(資料2)。グループごとに句を発表し、背景や込められた思いを説明しながら鑑賞を行った。

季語の有無や字余りなど俳句の型にはあまりこだわらず、アシスタント学生と話しながら表現することを楽しんでもらうことを重視した。また口頭での発表の際には助詞の「は」と「が」の誤用や「多いすぎる」など接続形態の誤用が見られたが、その場での修正はせず、後の授業や提出物で修正を加えることとした。

アシスタント学生の役割と気づき

アシスタント学生には、記録として「だれとどんなことをしましたか／授業の中で気づいたことを何でも書いてください／アシスタントをして、あなた自身が変わったことがあれば教えてください」という項目に記入したシートを、授業ごとに提出することを求めた。この記録により、教室活動全体からは見えにくいやり取りや「辞書をよく引いている」「こだわりがあるようだ」「学習者同士で学び合っている」など、学習者個別の情報を得ることができた。

また、「なるべくはっきり判断して伝えるように」したり、不安そうな表情の学習者に対し『大正解!』と言うことでわかる喜びを共有できた」と、アシスタント学生が日本語をどのように伝えると効果的なのかを試行錯誤し、コミュニケーションにかかわる気づきを得ていることも確認できた。

4. 2 第5回から第8回 -活動と日本語表現-

第5回から第8回の授業では、セミナーにおける講義や活動の体験を「日本語で話す・書く」ことを中心にし、さらにホームステイ先への礼状を書くという文化的な活動も取り入れた。

講義や活動の意識化

日本語講義以外の講義や活動の場での日本語を意識化し、さらなる日本語の運用につなげるため、講義を受ける際には日時と講義時間、講義者の名前と講義名のほか、「ことば／はじめて聞いたこと／あなたの意見」を記入すること、教室外の活動に関しては「どこで何をしましたか／感想」をまとめ、すべての活動について翌日の授業で提出することを課した。

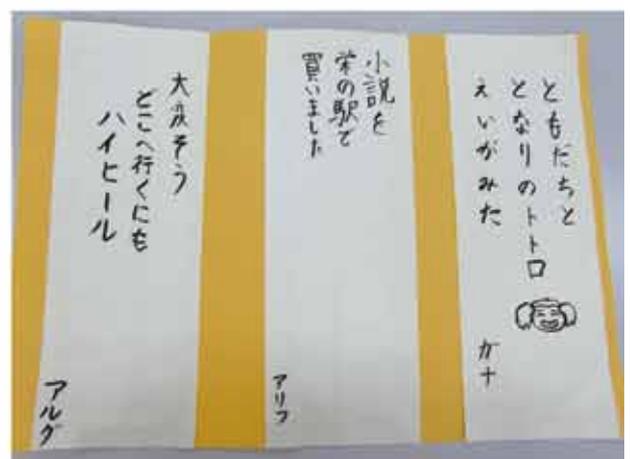
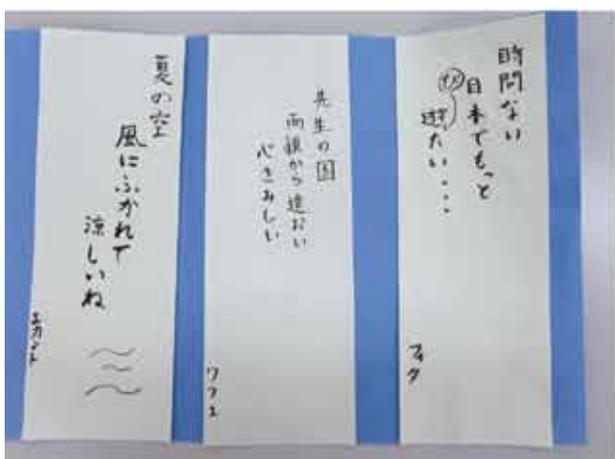
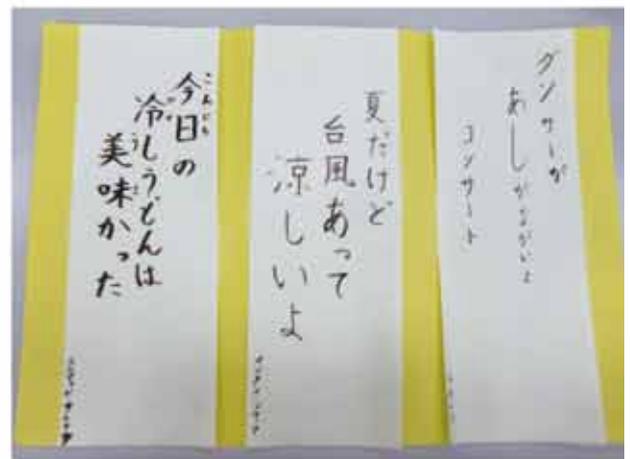
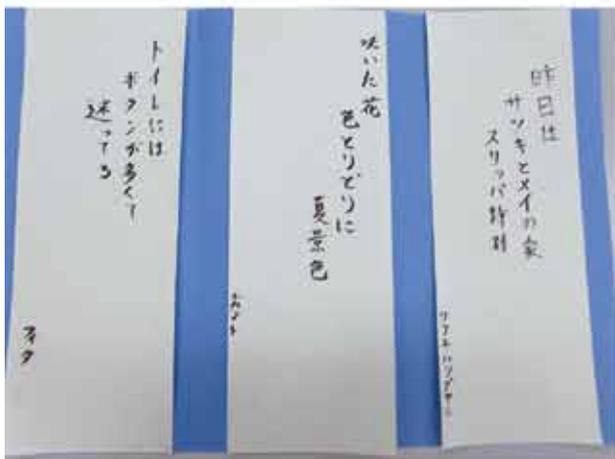
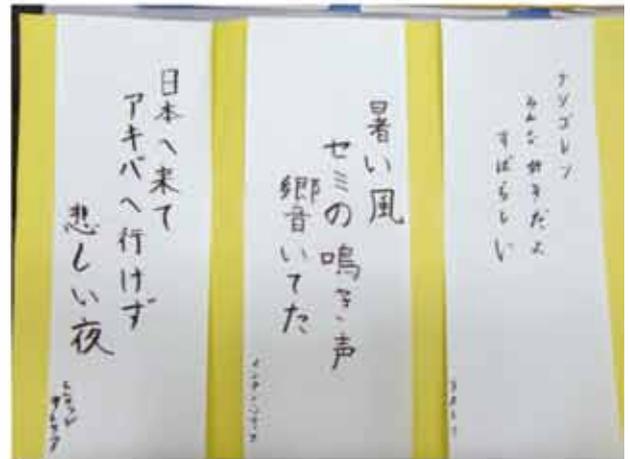
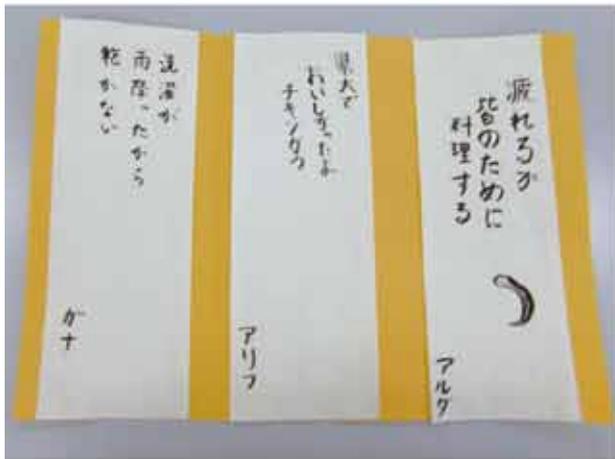


授業の進め方

アシスタント学生が入る授業は、概ね次のような手順で実施した。

- | | |
|--------|------------------|
| 導入 10分 | 課題回収、アシスタント学生の紹介 |
| 活動 50分 | 話し合い、文章作成 |

〈資料2〉俳句作品



まとめ 30分 口頭発表、フィードバック

第5回から第8回の授業は、机を「コの字型」に並べて行った。学生アシスタントには、「コの字型」の机の内側に座り、ガ ज्याマダ大学の学生2、3人と対話するように指示をした。この配置により、教師はクラス全体を把握することができ、板書による文法や語彙、表現の修正や説明も効率よく行うことができた。

活動やホームステイを踏まえて自由に話し、それを文章化したものをクラス全体に口頭で発表、文法や語彙、表現をフィードバックするという手順で授業を進めた。

第5回（7月25日（月）8:50-10:20）

ガ学生：9名， ア学生：4名

授業内容：ホームステイを含む活動の経験を話す

授業目的：経験したことを振り返り日本語で表現する

口頭表現と文章表現

授業記録と活動記録が課してあるため、話題がなくて発話が止まってしまうといった場面はみられなかった。アシスタント学生の感想に「話し言葉は完璧だと思います」「日本に来たばかり



りで緊張しているだろうし話しづらいな？とと思っていましたがそんな心配など、どこ吹く風でした」とあるように、口頭でのコミュニケーションには困難がないようであった。ただし、文章を書いてみると、「賞をもらった」を「賞をあげた」にするといった授受表現の誤用や「は」と「が」の使い分け、主語と述語のねじれ、語彙の選択の間違いなどが明確になった。こうした表現については適宜、クラス

全体にフィードバックして確認した。また、書いた文章を口頭で発表する際には、発音の確認も行った。

アシスタント学生の気づき

アシスタント学生のコメントには、ガ ज्याマダ大学の学生から出た「神道」について「考えるきっかけ」になった、生き生きと学ぶ姿に「こちらまで楽しくなる、自分の日本語が「間違っていないか確認するように」になった、「もっと日本について勉強しよう」と思った、などと書かれている。ガ ज्याマダ大学の学生の意識の高さに対する驚きだけでなく、互いのやり取りの中から日本人学生が学びの影響を受けていることがうかがえる。

第6回（7月25日（月）10:30-12:00）

ガ学生：9名， ア学生：4名

授業内容：ホームステイを含め、日本についての興味があることを小文にする

授業目的：意見や事実をまとめて、文章化する

1時限目の第5回のクラスと異なる3名のアシスタント学生が入ったため、学習者がアシスタント学生に質問をするという形で、新たなメンバーの自己紹介をすることから始めた。

学生同士のフィードバックと自己修正

ガ ज्याマダ大学の学生には先の授業で発表した小文の話題について引き続き話し、文章にまとめ直すことを指示した。さらにペアになってお互いの文章を交換し、読み合うように指示し

た。ペアの相手の文章を読み、分かりにくいところや違和感を覚えた箇所について質問し、書き手がそれに答えることにより表現や語彙、漢字表記の自己修正を行った。

アシスタント学生の気づき

ガ ज्याマダ大学の学生から「神仏習合」や神社での参拝の仕方などに関する質問が出て、アシスタント学生が慌てるような場面もみられた。また、文章を修正しすぎると「学習者のやる気や自信を削いでしまう危険がある」という気づきも寄せられた。

なお、クラス全体に向けての発表後、ホストファミリーへ礼状を書いて送ることを提案、下書きを宿題とした。

第7、8回（7月26日（火）8:50-10:20、10:30-12:00）

ガ学生：10名（第7回は9名）、ア学生：4名ずつ（うち1名のみ両クラスに参加）

授業内容：ホームステイ先への手紙を書く

授業目的：日本語で手紙を書いてみる、敬語を使う

第7回と第8回の授業では、ホームステイ先への手紙（〈資料3〉）を日本語で書くことを課題とした。なお、日本の文化的な側面を紹介することも兼ね、手紙文は筆ペンで縦書きとし、封筒の宛名書きの仕方も説明した。さらに、予め用意しておいた10種類の絵柄の切手から相手や自分の好みに合う切手を選んで貼り投函の準備をするように指示した。



日本語で手紙を書くーアシスタント学生との会話をもとにー

ガ ज्याマダ大学の学生には、「ありがとうございました」「お世話になりました」「インドネシアに来てください」といった定型文を並べるだけでなく、「何をしたか」「どこへ行ったか」「どんなことをしてもらって嬉しかったのか」「どんなことを見たり聞いたり話したりしたか」「どんな気持ちだったか」など、具体的なエピソードを交えて書くように指示した。また、アシスタント学生には、ガ ज्याマダ大学の学生の話聞いて、さらに発話を引き出すことを求めた。

ホームステイ先での出来事を思い出し、「～のことを話した」「～に連れて行ってもらった」などの話をし、それを手紙文にする際には「～のことをお話しできてよかったです」「～に連れて行ってくださって、ありがとうございました」など、敬語形式が用いられるようになった。敬語を学習してはいても、なかなか使う機会がなかったということで、「目上の人に使う」だけでなく、フォーマルな手紙に使うこと、敬語を使うと丁寧になることなどを説明し、形式を適宜、板書でフィードバックしていった。

なお、この第8回の授業から、ガ ज्याマダ大学工学部の学生1名も日本語講義に参加した。日本語能力は入門レベルであり、ホームステイ先への手紙は英語で書いた下書きを用意していた。英米学科のアシスタント学生の協力によって、「話しながら一緒に」日本語にして書くことを経験することができた。これを契機に日本語学習への動機づけが高まり、最終スピーチで日本語を交えることができたことも大きな成果であった。

アシスタント学生の気づき

アシスタント学生のコメントには「伝えたいことがあって言語活動があるということがよくわかった」、「相手から話題をどんどん引き出すような会話が大切だ」、「どの学習者も自分からコミュニケーションをとろうとしている姿が印象的だった」、といった感想や「留学生とかかわる仕事」



AICHI PREFECTURAL UNIVERSITY
Kumabari, Nagakute, Aichi 480-1198, JAPAN
Phone: 81(0)561-64-1111, Fax: 81(0)561-64-1105
HomePage: http://www.aichi-pu.ac.jp/

お兄さんはいっぱいぼうずを取ったから、最近かかみを見て、ボウズになっただけか、毎朝チェックしています。

ベイブレードはテレビでアニメを見ていました。今までテレビでしか見たことがないので、実際に手に持ったことがなかったです。ゆういちろうから借りたベイブレードで遊んで本当にたのしかったです。また、ゆういちろうと「ゴーストシューター」をさげびたいです。

今度、インドネシアにもしも来たなら、一緒にインドネシアの遊びをしましょう。またお会いできたほうがいいです。本当にありがとうございます。



AICHI PREFECTURAL UNIVERSITY
Kumabari, Nagakute, Aichi 480-1198, JAPAN
Phone: 81(0)561-64-1111, Fax: 81(0)561-64-1105
HomePage: http://www.aichi-pu.ac.jp/

岩瀬家の比呂様へ

おはようございます。

先日、ホームステイでお世話になったインドネシア人留学生のサトウです。岩瀬家にお邪魔させていただきましてありがとうございます。短い間でしたが、岩瀬家電卓で過ごした日々がうれしかったです。

夕食、比呂で食べた手巻きうどんは美味かったです。長年、食べなかつた納豆を味わうことができてうれしかったです。

しおりとゆういちろう、元々スリ、またあつて、一緒にぼうずめくりをやろうかな。



AICHI PREFECTURAL UNIVERSITY
Kumabari, Nagakute, Aichi 480-1198, JAPAN
Phone: 81(0)561-64-1111, Fax: 81(0)561-64-1105
HomePage: http://www.aichi-pu.ac.jp/

また長久手に行った時には、よろしくお願ひします。比呂様によろしくお伝え下さい。もしいつか大和さんがインドネシアにいららば、是非私に連絡して下さい。

またお会い出来る日を楽しみにしております。

アルダより



AICHI PREFECTURAL UNIVERSITY
Kumabari, Nagakute, Aichi 480-1198, JAPAN
Phone: 81(0)561-64-1111, Fax: 81(0)561-64-1105
HomePage: http://www.aichi-pu.ac.jp/

大和さんへ

こんにちは、アルダです。

お元気でいら、しゃいますか。私は、お陰様で元気です。この間は、大和さんとお世話になり、ありがとうございました。ホームステイは泊だけでしたが、とても楽しくて、良かったです。大和さんは比呂様より、大好きです。

神社に案内してくださったり、写真を撮ってくださったり、嬉しかったです。私は日本にいる間に神社に行きたかったのですが、大和さんのおかげで家族と一緒に連れて行ってくださって、本当にありがとうございました。や、本物をみる事が出来ました。

また、遠いへさ公園に案内してくださって、本当にありがとうございました。へさ公園があんなに遠いとは、私とフィクさんは全然知らなかったです。しかし、その公園で花火を見たり、色々な屋台の馳走を買っていただいたり、とても楽しい夜でした。足がとても疲れましたが、嬉しかったです。そのため足の痛みがなくなりました。



イラストリより

またお会いできろのを楽しみにしています。



お母さんへ

お母さん、お元気ですか。おひさしぶりです。ホームステイの間にクオルを貸借して下さったりきれいなおふてんやおふうを準備して下さったり私のために色々なことをしてくださって本当にありがとうございます。たこやまを作ってくださってとても嬉しかったです。そして聖堂ちゃんとLINOをしたことが楽しかったです。しかし、お父さんとお話しできなかったのも残念です。もしまうかがあれば次はお父さんともお話ししたいと思います。お母さん、インドネシアに来ることがあれば連絡してください。

大和さんへ



大和さん、私はフィクです。お元気ですか。私は元気です。海老煎餅は召し上がりましたか。おいしいですか。私は大和さんのご家族とお会いできて、本当によかったです。ホームステイは泊だけでしたけれど、たいへんお世話になりました。色々と所に連れて行ってくれて下さって下さる人のおかげです。遠い所まで連れて行って下さって本当にありがとうございます。日本の経路で、大和さんのご家族と過ごした時間が最高だと思います。神社の前で写真撮ったり、へささんで花火大会を見たり、きれいなカフェで晩ご飯を食べたり、きれいなマンションに泊まったり、れなちゃんと遊んだり、それらは本当に忘れられない体験になりました。私はもうすぐ国へ帰りますが、機会があれば、絶対にまたお会いしたいです。ホームステイの間に、私にくださった優しさ、温かさ、心から感謝しています。最近雨がたくさん降っていますので、かぜをひかないように、大和さんも、ご主人も、れなちゃんも体に気をつけてください。ご家族によろしくお伝えください。一緒に撮った写真を大事にします。

ではフィク





山岩瀬家の皆様へ

私はホームステイで岩瀬さんのお宅を訪問することができて、本当に楽しかったです。一日しか滞在しませんでした。私は多くの経験をしました。初めて日本に来て、日本の方の家に泊まりました。本当にありがとうございました。

ところで、葉ちゃんと友一朗くんが積極的であつたです。葉ちゃんの部屋に入った時、賞状を見せてもらったことがありますね。ピアノをひくことが上手で、すばらしいと思います。友一朗くんもスマートな子で、バイブレードをすることが上手なのですばらしいと思います。

インドネシアにいららる場合は、ご連絡ください。先日は本当にありがとうございました。いろいろお世話になりました。皆さんによろしくお伝えください。



お母さん

インタビュー、ソフィアです。お元気ですか。

先日、ホームステイのプログラムでマンションに泊めてくれたので、どうもありがとうございました。短い期間でしたけれど、みなさんと色々話をしたり、たこ焼きを作ったりすることができて、本当に嬉しかったです。いい経験になりました。

エコハウスの記念写真はインドネシアに着いたら、すぐお送りいたします。

みなさんもインドネシアにいらしたら、私にご連絡下さい。お母さん色々お世話になりました。みなさんによろしくお伝え下さい。お母さん、それではまたお目にかかるのを楽しみにしております。

インタビュー、ソフィア

アリフより

が職業選択肢の1つに加わったといったことが述べられている。また、日本語上級者には、敬語や漢字の使用についてもしっかり教えた方がいいといった、学習者の日本語レベルと言語形式の問題に関する気づきも示されている。

4. 3 第9回から第12回 -スピーチ発表に向けて-

第9回から12回はスピーチ発表に向けての準備とした。

第9、10回（7月28日（木）8:50-10:20、10:30-12:00）

ガ学生：10名， 第9回ア学生：3名， 第10回ア学生：6名

授業内容：活動記録・講義記録からキーワードを探す

授業目的：スピーチ発表の準備

講義記録をもとにスピーチ原稿を作る

ここでは、今までの活動記録と外部講師などによる講義記録3枚のうちから、環境問題に関わるキーワードを取り出し、そのキーワードについて話し合いながら、発表のテーマを決め、それを文章にしていくことを目標とした。そして、文章を互いに読み合って質問し、スピーチ原稿の下準備をした。



第11回（7月28日（木）12:50-14:20）

ガ学生：10名， ア学生：5名， 見学者（日本語教師）：2名

授業内容：発表原稿を書く／読み合う 発表／聞いて質問

授業目的：スピーチ発表の準備

スピーチ練習

午後からの第11回の授業では、発表のスタイルをとりスピーチ練習を行った。初めにグループで発表原稿を読み合って修正し、一人2分の発表をしたあとで、質問を受けて答えるという手順で行った。さらに、質問されたことに対する説明や意見を加えて、スピーチ内容を補強するように指示した。

アシスタント学生の気づき

アシスタント学生のコメントには、「『日本では』という説明をすると『インドネシアでは』と自分の国のことを詳しく語ってくれる姿が印象的」、「どんな話題になってもいいように、普段からさまざまなことに目を向けていきたい」というように、ガジャマダ大学の学生に刺激を受けたことが書かれている。また、「インドネシアのことをもっと知りたくなった」、「今まで留学生とあまり交流したことがなかった」、「県大や地元の大学にいる留学生ともチャンスがあれば交流したい」、「もっと自分からみんなの中に入れていけるようになりたい」といった、今後の国際交流への関心が高まったことが述べられている。



第12回 (7月29日 (金) 16:10-15:40)

ガ学生 : 10名, ア学生 : 5名

授業内容:スピーチ発表練習/質問する

授業目的:スピーチ発表の準備

第12回の授業では、発表の形式で一人3分のスピーチをし、クラス内での質問・応答によつてさらに内容を整理し、アシスタント学生の協力を得てスピーチ原稿を仕上げた。

第13回 (7月30日 (土) 8:50-10:20)

スピーチ発表練習

スピーチ発表 (10:30-12:00)

ガ学生 : 10名 見学者 : 13名 (学外者4名を含む)

8時50分から10時20分まではリハーサル練習とした。初めにリラックスできるように、みなでダンスを踊り、発声練習をした。その後は、事前に決めた発表順で、一人3分のスピーチを行い、適宜、コメントをした。

10時30分からの発表本番では、県立大学関係者、アシスタント学生だけでなく、ホストファミリーや卒業生も参観する中、スピーチを行った。学生は緊張しながらも、各自が完成度の高いスピーチをこなし、高い評価を得ることができた。〈資料4〉は、そのスピーチ原稿の一部である。2日間にわたって練り上げたスピーチは、どの学生も大変堂々としてすばらしいものであった。

〈資料4〉スピーチ原稿の例

スピーチ原稿「ジョージア州のコミ銀行」
7月 29日 名前 (アルダ)

皆さん、こんにちは。はじめまして、カンザス大学日本経済学部のアルダと申します。これから、コミ銀行についてお話ししたいと思います。よろしくお聞きいたします。

皆さん、コミ銀行の事をご存じですか。コミ銀行というのは、ジョージア州の南にあるバントゥル県のコミ処理施設です。日本のエコハウスとコミ銀行は少し違います。エコハウスはゴミを捨てる時、お金を払わなければいけません。しかし、コミ銀行の場合は、ゴミを捨てる時にお金をもらえます。

コミ銀行でゴミを捨てる時、通帳をもらって、そこにデータが書き込まれます。例えば、どれくらいのを捨てるか、どのような種類のゴミを捨てるかなどのデータが書き込まれます。そして、コミ銀行はそのゴミをリサイクルセンターに売ります。その通帳に溜まったぶんだけ後でお金をもらえます。

インドネシアでゴミ問題は大きな問題の一つだとよく知られています。コミ処理場はすぐ満杯になってしまいます。緊急だから、私が知っている限り、コミ銀行はバントゥルにしかありません。これから政府がまた新しいコミ銀行を作るの良いと思います。環境を守るとし、お金ももらえるからです。

これで、私のスピーチを終わります。ご清聴、ありがとうございます。

08/2008 2011.07.17

スピーチ原稿「ジョージア州のコミ銀行」
7月 29日 名前 (アルダ)

今日は、カンザス大学日本経済学部のアルダと申します。これから、1970年のジョージア州のコミ銀行についてお話しします。よろしくお聞きいたします。

私がジョージア州のコミ銀行の事を、20才の時、初めて知りました。それは、父がジョージア州の南にあるバントゥル県のコミ処理施設で働いていました。母はマダララと申します。60才の時、私が子どものころに、両親は私の両親の子どもを多く育ててくれました。両親はそれぞれ別の土地に引っ越したか、両親の子どもは別の生活の場所をほとんど同じでした。両親はそれぞれ、それぞれの住んでいた場所、それぞれの自然が大好きであり、そこでよく遊んでいたからです。両親は、今のようにはありませんでした。テレビやインターネット、パソコン、携帯電話などがありました。そのことを聞いた時は、ほんとうに驚きました。両親が子どものころに、電気のない生活を楽しんでいたことがよく分りました。

1970年に、母はマダララとご結婚されました。そして、ジョージア州で生活をおくりました。母は30才/1970年のジョージア州で仕事があり、夜になると友人と遊ぶようになりました。自動車/オートバイなどを買ったので、夜に遊ぶことができたのは、友人と遊んだ。暗い道を歩く時は、電灯のおかげで、17才の時使っていました。

今、両親はジョージア州に住んでいる22才の私は、今の生活は、少しづつ変わってきています。現在のジョージア州の生活は、少しづつ変わってきています。

08/2008 2011.07.17

報告書作成

なお、スピーチ終了後の閉講式、送別会を終えてからも、本セミナーの報告書を仕上げるといふ課題が残っており、宿舎で個別に指導した。完成した報告書(資料 5)を(資料 1)と比較していただきたい。「日本で体験したことで一番心に残ったことを教えてください／日本の印象は日本に来る前と変わりましたか／日本にいる間に、あなたが変わったことがあれば教えてください／もう一度日本に来るとしたらどんなことがしたいですか」への回答には、日本語講義における成果のみでなく、国際交流セミナー全体を通して、ガジャマダ大学の学生が多くを学び日本語表現力を高めたことがうかがえる。



5. アシスタント学生を導入した日本語講義

5. 1 アシスタント学生の役割 -学生の悩みから-

今回、筆者(東・加藤)がアシスタント学生に対して事前におこなった指導は2点のみである。「教室では担当教員の指示に従ってください。」「クラスにおいて学習者と『日本語で』楽しく会話してください。そしてできるだけ学習者の日本語による発話を引き出してください。」である。結果、同じ学生同士の立場で「会話の相手」をすることが、非常に有効的に学習者の発話を引き出し、教室外の活動を教室内の言語活動に結びつける役割を担うことができた。

例えば、俳句(川柳)を作る授業では、日本の生活や体験を話すことで、生き生きとした表現が引き出された。また、ホストファミリーに手紙を書く授業では、ホームステイ先での様々な出来事を話すことで手紙を書くというモチベーションも上がり、また、敬語形式などへの気づきも生じた。またスピーチ原稿作成の段階でも、アシスタント学生と話すことで内容が充実し、特に文化比較の説明も明確になった。

その一方で、アシスタント学生からは、文法や表現をどう修正するのかなどについて悩みのコメントも多く寄せられた。次に抜粋して示す。

「自分がどこまで原稿に手を加えていいものかすごく悩んだので、最初に先生から方針を聞いたかったです」

「日本語で会話をする、コミュニケーションをする、文法を教える・・・今回はそれ以上に『日本の環境に関する取り組み』や現状、課題など、ある程度の知識が不可欠でした」

「学習者が書いた文章をどこまで修正するのか最初はとまどいました。学習者が直してもらうことを望んだので、意見をどんどん言うように変更しました」

「それぞれが異なるテーマでスピーチをつくっていたため、その人が何に関心があるのか？何について話したいのか？を理解するのに時間がかかりました。(省略)早くスピーチ原稿を完成させなくては・・・と焦ってしまいました」

「文章を直すアドバイスをする際に、本人が言いたいこととずれてしまわないように、よく考えなければならぬと思いました」

確かにスピーチの内容を決めていく際には、アシスタント学生と話すことで、内容や説明が充

実する。その一方で、文法や語彙を正しく直してほしいという学習者の欲求もある。また、上級者であるが故に、学習者の日本語表現に関する困難さは個別的なものである。したがって、上記のような悩みをアシスタント学生が持ったとしても、文法や語彙などの修正は、アシスタントではなく教師がコントロールする必要があるのである。

今回のケースでも、例えば、スピーチ練習の後半2回では、対面対話ではなくアシスタント学生1名に学習者3名を割り当てて、学習者のスピーチにおける問題点を記録させ、それをふまえて教師がフィードバックする、といった形も有効な方法であったかと思われる。そうした方法をとるのであれば、担当するアシスタントには一定以上の日本語教育に関する予備知識や実習経験などが必要である。その上で、あらかじめ担当者を固定しておき、アシスタントと教師が事前打ち合わせをするなど、綿密な計画を立てて臨む必要があるであろう。

5. 2 交流と日本語教育

今回のセミナーの場合、「国際大学交流セミナー」の中の「日本語講義」として、交流活動があり、それを日本語運用と結びつけるという観点で授業計画を立てた。セミナー全体としては、日本語講義におけるアシスタント学生とのインターアクションによって効果的な学習ができただけでなく、学生同士のディスカッションやその他学内のさまざまな場で学生間の交流も持つことができ、有益であったことは確かである。

ただし、これが日本語習得を目的とした短期留学のカリキュラムであった場合など、セミナーの方針によっては「交流」と「日本語教育」のバランスや学習内容の比率を考える必要があり、それに応じて日本語講義におけるアシスタントに求められる役割や授業との関わりも、柔軟に変えていくことが必要であろう。

おわりに

以上、愛知県立大学の平成 23 年度「大学国際交流セミナー」における「日本語講義」での活動の試みを紹介し、アシスタント学生の位置づけの可能性について考察をした。

なお、今回のアシスタント学生の雇用に際して、高等言語教育研究所の経費を充てていただいた。記してここに感謝申し上げます。

〔資料5〕日本語講義報告書

またおめにかかりましょう！ Sampai jumpa lagi!

07月30日 名前(ムリマツト・サトリヤ
バクス・ウボウマ)

日本で体験したことで、一番心に残ったことを教えてください。
私が日本で体験したこと、一番心に残ったことは日本のゴミ分別システムがどのように糸田がく整理されていることです。インドネシアではゴミを捨てる時、道端や川に捨てる光景がまた見られます。ゴミ箱の設置も少なく、皆、適当に捨てます。日本の道はきれいで、どんな所に行ってもゴミを見かけず、日本は住みやすい場所です。これはゴミ処理システムがこのようになっているためだと感じました。

日本の印象は日本に来る前と変わりましたか。
私は3年前日本の東京に留学をしたことがありました。今回、初めて愛知県を歩かれました。初めて印象にのこった事は、リニモに乗ったことです。東京の電車と違い、このリニモには乗務員が乗っていないことです。長久手町のゴミ処理は、東京に比べて、より糸田がくなっています。また、名古屋では、ゴミ処理がもっと糸田がくなっています。愛知県内でも自治体によってゴミ処理システムが違うことを知りました。

作成/印刷 2011.07.27

日本にいる間に、あなたが変わったことがあれば教えてください。

私が日本にいる間、変わったことは、ゴミはすべてがゴミじゃないと知りました。ゴミの中には、まだリサイクルできる資源や、まだ再利用できる粗大ゴミなどがあることが分かりました。今まで、ゴミは全部ゴミ箱に捨てていました。しかし、リサイクルやゴミの再利用を学んだことで、環境保護の大切さを知りました。日本人にできることが、インドネシア人にできないわけがありません。私はまげたくないので、これから、日本人のゴミ分別システムを学び、環境をたもつに努めるつもりです。

もう一度日本に来るとしたら、どんなことがしたいですか。

将来、また日本へこられたら、日本の大学院で日本文化をより深く学びたいです。日本文化研究者を目指している私は、日本の将棋、囲碁などを研究したいと思っています。日本の将棋はチェスと違い、特別な馬駒を動かせるのが特長です。この馬駒がなぜそのように動かせるのか私の研究テーマの一つになっています。もっと、日本の将棋を知りたいです。

ムリマツト・サトリヤ バクス・ウボウマ

作成/印刷 2011.07.27

またおめにかかりましょう！ Sampai jumpa lagi!

7月30日 名前(パラマストリ・アルダナスワリ)

日本で体験したことで、一番心に残ったことを教えてください。
日本で体験したことで、一番心に残ったことはホームステイのご家族と一緒に過ごしたことです。大和さんのご家族と会ったことは空からの贈り物のようだと思います。その時、大和さんのご家族は私とマクさんをへきなん公園のような遠い所へ連れて行って下さいました。

へきなん公園で、花火大会を見て、すごかったと思いました。そして、その公園の近くにある屋台に行き、一緒に色々な日本食を食べました。大変疲れましたが、嬉しすぎたため足の痛みがなくなりました。

日本の印象は日本に来る前と変わりましたか。
はい、変わりました。日本に来る前に、日本ではあちこちに高い建物がたくさんあるので、空気が汚いと思いました。しかし、愛知県に着いた時、日本の空気はとてもきれいなので、びっくりしました。リニモに乗っていた時も、見渡すと緑と田んぼが広がっていました。本当に素晴らしいと思います。

日本の駅で、よくお年寄りがエレベーターより階段の方を使っているのを見ても、びっくりしました。日本に来る前は、階段をよく使う人は若者だけだと思いました。

作成/印刷 2011.07.27

日本にいる間に、あなたが変わったことがあれば教えてください。

はじめて日本に来た時歩くことはあまり好きではありませんでした。日本では、どこへ行くにもたくさん歩かなければなりません。本当に苦しかったです。しかし、今はもう慣れて、歩くことが好きになってしまいました。

日本人は時間をきちんと守ります。約束の時代、授業がある時、いつも遅れません。もし遅れても、ちゃんとした理由があります。私はインドネシアでよく遅れました。はじめて日本に来た時にも、いつも遅れてしまいました。しかし、時間が経つにつれて、時間の大切さを学びました。これから、遅れないように頑張ります。

もう一度日本に来るとしたら、どんなことがしたいですか。

もう一度日本に来るとしたら、したいことがたくさんあります。とりあえずかかせないのは、愛知県立大学の友達と皆さんにまた会うことです。出来る限り一緒に色々な観光地へ旅行したり、日本食を食べたいです。

そして、社会、経済、文化など様々な面で日本のことをもっと理解できたいと思います。よさめい踊り、茶道、華道など、日本の伝統文化にとても魅力を感じます。

他に、日本の学校へ行って、先生や生徒と話したいです。日本の教育理念や教育制度をはじめ、様々なことを知りたいと思っています。参考にしたと思います。いつか日本語の先生になりたいです。

パラマストリ・アルダナスワリ

作成/印刷 2011.07.27

またおめにかかりましょう！ Sampai jumpa lagi！

7月30日 名前(スラストリニジー)

日本で体験したことで、一番心に残ったことを教えてください。
日本で体験したことはスーパーへ自分のバックを持って行くことです。
最初の日にガジマク大学チームが一糸者にスーパーへ行った時に先生が私達に質問しました。「宿舎にあるエコバックを持って来ましたが、日本のバックはお金がかかるよ。」と聞いて皆びっくりしました。なぜかというインドネシアでは買い物をする時にたまたまビニール袋をもらうのです。小さい頃から環境に効果があることを学びました。そこで、これから買物をしたら、自分の袋を持って行きます。自分から行動をして他の人や環境に良い影響があるようにして考えるようになりました。

日本の印象は日本に来る前と変わりましたか。
日本の印象は日本に来る前と変わりません。今まで持っていた印象は日本人が時時間を守るということです。日本語を勉強している時、日本語の先生がよく「日本人と言えば時時間を守る人だ」と言いました。愛知県立大学の授業に参加する時いつも先生が十分前にクラスにいました。二週間たけても、このような日本の印象がセクセク変わりました。

作成/加藤 2011.07.27

またおめにかかりましょう！ Sampai jumpa lagi！

7月30日 名前(クティット・フスパンングガナ)

日本で体験したことで、一番心に残ったことを教えてください。
日本で体験したことで、一番心に残ったことは日本人の家族とのホームステイです。ホームステイの時、ちょうど家の近で夏祭りが行われました。ホストファミリーにゆかたを着せてもらいました。お祭りの時、みたらだんごとかやきを食べて、盆踊りも踊って、たいこも叩いて、良い経験になりました。もう一つは、エコバグのことです。色々なゴミを分別してリサイクルし、また利用できる物にするすばらしい場所だと思います。他のはトヨタのことで、環境に問題が起きないように、緑化のために木を植えたりして環境を守ろうとして、大きな工場があることに感動しました。全部の工場が環境のことを気をつけて、一緒に環境を守ると良いと思います。
日本の印象は日本に来る前と変わりましたか。
はい、変わりました。愛知県立大学に来る前に叔母が愛知は山に囲まれているから夏は蒸し暑いです上、と言っていました。でも、来る日には台風があり、次の週間はあまり暑くなると言っています。また、日本の本州は人がたくさん混んでいるイメージを持っていましたが、その通りではありませんでした。さらに、日本人は外国人に話しかけられると困ると聞いたことがありますが、日本人はみんな優しいです。道で会った時、よく話しかけてもらいました。

作成/加藤 2011.07.27

日本にいる間に、あなたが変わったことがあれば教えてください。
日本にいる間に、変わったことがたくさんあります。例えば、時間のことです。日本人のように時間を大切にすることができるようになりました。そして、言葉に参加している日友達とセクセク話さすようになりまし。その他、日本の食べ方の習慣です。日本では食べている時にちゃわんのごはんはしを立てることがわかっていことを学びました。だから最近そのようなことを注意するようになりました。

もう一度日本に来るとしたら、どんなことがしたいですか。
もう一度日本に来るとしたら、もう一回日本語言葉に参加したいです。そして、日本のブックオフにたくさん本を買いに行きたいです。できれば、日本にある国際関係学科で日本語と国際問題を学びたいです。他には、本や糸葉を見たいです。おもしろい本以外にも、日本の四季の雰囲気を感じたいです。例えば、夏には日本の海へ行きたいです。また、冬には雪を見たいです。楽しいと思います。


スラストリニジー

作成/加藤 2011.07.27

日本にいる間に、あなたが変わったことがあれば教えてください。
日本にいる間に、私が変わったことは台所で料理を作る時に手伝うようになったことです。料理を作るのが苦手でしたが、自分で料理をしなければなりません。私の方もみんなに作ってもらったので、できるかぎり、役に立つように手伝いました。簡単なことしかできませんでした。勉強になったと思います。インドネシアへ帰っても、母を手伝いながら、料理を勉強しようと思っています。
また、日本にいる間に、ゴミなどの環境問題が分かるようになって、環境を守ろうと思うようになりました。ゴミの分別やエコバグの利用など、インドネシアへ帰っても、ちゃんとしようと思っています。

もう一度日本に来るとしたら、どんなことがしたいですか。
もう一度日本に来るとしたら、留学したいです。一年間留学して、日本で生活をして、四季を体験したいです。一年中日本にいて、秋には運動大会に参加したり、冬にはスキーをしたり温泉に行ったり入ったり、春には花見をしたり、夏には海や山に行ったりして、経験を増やしたいです。その後、インドネシアに戻って、卒業して、また日本で仕事できたいです。


Thabit Pucpaning Geyana

作成/加藤 2011.07.27

またおめにかかりましょう！ Sampai jumpa lagi！

04月 30日 名前 (デヴィッド・ワグネル・ヤング)

日本で体験したことで、一番心に残ったことを教えてください。一番心に残ったことは日本人が時間を守ることです。日本に来る前は日本人のように時間とおりに生活することが「たいへんだ」と思っていました。日本に来た、最初は「たいへんだ」と思いましたが、一週間ぐらいたったあとで、たんたんと慣れてきました。日本人の日常時間とおりの生活は私にはいいことだと思います。それに限らず、この二週間に、様々な場所に行ったり、見学したりしました。そこであらゆる楽しさを堪能しました。特に環境のことです。インドネシアに帰ってからも日本で「習った」ことを取り入れたいです。

日本の印象は日本に来る前と変わりましたか。はい。

日本に来る前に私達友達が「日本人はインドネシアについてあまり知らない」と言っていたので、そのように思っていました。しかし、愛知県立大学で会った日本人はほとんど「インドネシアについて」知っていました。たとえば、インドネシアの料理やハラル・フードをはじめ、みんな知っていてくれて、本当に興味をもっていると思います。日本人はみんなやさしくて、インドネシアについて知っていたので、とても安心して、楽しく過ごせました。

作成/加藤 2011.07.27

日本にいる間に、あなたが変わったことがあれば教えてください。

日本に来る前は、時間とおりの生活をしていませんでした。しかし、日本で生活して、私も日本人のように時間とおりの生活をするようになりました。

それに限らず、日本ではゴミの分別をよくしているのでも、私もゴミを分別するようにしました。日本人のように生活をするようになったことは、私にとって本当にいいことだと思います。また、日本に来る前には「受け合う生活」はあまりしていませんでした。この二週間は、友だちと一緒に住んでいたのでも、日本に来る前のように私では「受け合う」わけが「ままな私」が、みんなと助け合うことで、わがままな性格ではなくなりました。本当にいい体験になったと思います。

もう一度日本に来るとしたら、どんなことがしたいですか。

もう一度日本に来るとしたら、日本人の友だちとまた会いたいです。もっと日本人と交流したいです。それを通して、日本語もたくさん勉強することができそうです。そして、私は日本の文化について研究しています。特に「さるまわし」について研究しています。さるまわしについて気になったのは、インドネシアにもさるまわしがあるからです。しかし、インドネシアのさるまわしと日本のさるまわしは違います。インドネシアのさるまわしみたいではなく、日本の伝統的な文化として、さるまわしは現在の日本にも存在しています。それは「さるまわし」ではなく、日本人の「さるまわし」の感じが、あると思います。それはすばらしいと思います。現在日本に「さるまわし」の芸をもっと研究しています。

デヴィッド・ワグネル・ヤング

作成/加藤 2011.07.27

またおめにかかりましょう！ Sampai jumpa lagi！

7月 30日 名前 (インタン・ノフィア・ムスリカー)

日本で体験したことで、一番心に残ったことを教えてください。一番心に残ったことは日本の日常生活でした。最初は、日本の生活は大変だと思いましたが、時間が経つにつれて日本の生活になれてきました。

朝早く起きて、朝ご飯とお弁当を作って、色々な授業を受けに大学へ行きました。日本語の授業は宿題がたくさんあったが、色々なことも勉強することができるし、先生も面白くて、やさしいので、本当に楽しかったです。

時々、見学をしに外に出かけました。どこかへ行って歩いて電車に乗りました。インドネシアであまり歩かないから、日本でたくさん歩いて、疲れました。

スケジュールが厳しいので、毎日忙しくて、帰国したいと思うこともありましたが、日本人も頑張りを見ても、自分自身に「私も頑張りよう」と言いました。

日本の印象は日本に来る前と変わりましたか。日本は都会のように高い建物は「かっこいい」と思っていたのですが、愛知県立大学がある長久手市は緑や山が多くて、日本に来る前に思っていたのと少し違っていました。愛知県立大学の周りには田んぼがたくさんあったので、インドネシアみたいだと思いました。

しかし、日本人の印象は日本に来る前と変わりません。日本人は時間を守って、よく頑張りしていると思います。何かをする時に、キチンとします。また、環境にやさしい習慣があって、すごいと思います。日本がきれいな国なのはみんなの努力の結果だと思っています。

作成/加藤 2011.07.27

日本にいる間に、あなたが変わったことがあれば教えてください。

日本で電車に間に合わなかったことがあります。その時、3秒しか遅れませんでした。電車の扉が開いてしまいがちで、次の電車を待たなければなりません。また、どこかへ行く時、たくさん歩いて、とても疲れました。インドネシア人はあまり歩かないからです。しかし、今は日本の生活になれて、平気になりました。日本に来る前は、ノンビリ暮らしていましたが、帰ったら日本人のように、時間を大切にしようと思っています。

もう一度日本に来るとしたら、どんなことがしたいですか。

もう一度日本に来るとしたら、桜と紅葉を見たり、雪を角刈ったりしたいです。インドネシアでは、できないからです。さらに、もっと深く日本語や日本文化を学びたいです。日本はすごい国で、学びたいことがたくさんあって、日本で学んだことをインドネシアに持って帰りたいです。

インタン・ノフィア・ムスリカー

作成/加藤 2011.07.27

またおめにかかりましょう！ Sampai jumpa lagi！

07月30日 名前 (エカント・ハサン)

日本で体験したことで、一番心に残ったことを教えてください。

日本語と環境を中心に学ぶために私は日本にきました。愛知県立大
学によるスケジュールのおかげで様々な新しい物事に出会いました。
貴重な体験をしました。社会学やホームステイや特別講義などたくさんありました。
勉強だけではなく遊んだりもしました。

一番心に残ったことは日本の日常生活に角出れることができたことです。
なかなかこういう体験はインドネシア人のたれでもが体験できることでは
ないので、私は幸運だったと思います。

日本の印象は日本に来る前と変わりましたか。

日本に来る前は、日本に関する情報はインドネシアのテレビとインターネット
から知りました。例えば、発達している技術や文化などです。私は日本
がすばらしい国だと思いました。今回、実際に目の前でみると、その感じ
はすばらしいが2倍になりました。日本に来て、本当の様子を見て、日本
に長く住みたいなと思いました。でもやはり自分の母国、インドネシアでも
将来そういった日本のように技術が発達していくといいなと思いました。

作成/加藤 2011.07.27

日本にいる間に、あなたが変わったことがあれば教えてください。

日本にいる間に、私はすごく変わりました。今までは急激な人生をまわって
いましたが、日本での充実したスケジュールのおかげで人生の流れが変わり
ました。一日でたくさんのご事をやりとげて、そのことに熱心に取り組み
ました。毎晩、寝る前に一日でやりとげたことを思い出して私は気持ち
が良いなと感じました。そのほかに、環境のことを中心に学びました。
インドネシアでゴミを分別することがありませんでした。しかし、日本に来てゴミ
を分別するようになりました。やはりゴミを分別することは、環境を守る
ための貢献の重要なポイントだと思いました。

もう一度日本に来るとしたら、どんなことがしたいですか。

もしもう一度日本に来る機会があるとしたら、今回の短期留学では
できなかったことをして、日本に関する英語を多く高めたいと思います。
例えば、言語や文化や社会などについてです。どうしてかという
インドネシアでも日本のような社会システムが実現する良いなと思います。

作成/加藤 2011.07.27



またおめにかかりましょう！ Sampai jumpa lagi！

07月30日 名前 (ワフユ・ハンダヤニ・スティアニンソー)

日本で体験したことで、一番心に残ったことを教えてください。

日本で体験したことで、一番心に残ったことは二つあり、一つ目は日本で道を渡
る時に安全だと感じることです。日本の道には歩く人のための信号があります。日本の
人々はだいたいルールを守ります。このことは私には安全だと感じられます。

二つ目はトヨタ町工場に行き、トヨタ町工場では様々なことが勉強に
なりました。そして、心に残ったことはトヨタの大きな会社ですが、環境のことよく
考えていることです。

日本の印象は日本に来る前と変わりましたか。

日本の印象は日本に来る前と少し変わりました。日本に来る前は味は都会で、高い
ビルがどこでもたくさんありました。そして、空気がきれいではないと思いま
した。しかし、日本の名古屋の愛知県に着いたら、緑色がいっぱいで、思ったより涼しく感
じました。そして、日本人はとても自然を守ります。どこでもきれいです。

作成/加藤 2011.07.27

日本にいる間に、あなたが変わったことがあれば教えてください。

日本にいる間に、私は少し変わりました。日本人が自然を守ろうとしているのを見て、
私はインドネシアに戻ったら、自分から自然を守りたいと思います。そして、できるだけ
時間を守りたいと思います。日本人はいつも時間を守ろうとしているのを見て、自分が
恥しいと思いました。インドネシア人はよく遅れたからです。ですから、今からでも時間を守
りたいと思います。

そして、日本人の習慣を見て、自分でもそのようなことをしてみたいです。例えば、近くへ
行く時は歩いて、または自転車に乗ることです。それから、周りをきれいに保つために、ゴミを
捨てる時も分別してみたいと思います。

もう一度日本に来るとしたら、どんなことがしたいですか。

もう一度日本に来るとしたら、もっと日本文学を学びたいです。宮崎先生の講義で
日本文学を学びました。日本の詩や小説は面白かったので、もっと詳しく日本文学を勉
強したいと思っています。なぜなら、日本の詩はおもしろい言葉を使っている、意味もよく分
からないから、もっと調べると、面白いと思います。

作成/加藤 2011.07.27

ワフユ・ハンダヤニ・スティアニンソー



またおめにかかりましょう！ Sampai jumpa lagi！

07月 30日 名前 (アリアワンフアンフイ)

日本で体験したことで、一番心に残ったことを教えてください。
日本で体験したことで心に残ったことが二つあります。一番目に心に残ったことは日本人の習慣です。特に日本人のゴミ分別が心に残りました。日本人のゴミ分別がすばらしいと思います。私は日本で日本人の習慣のことと日本語の勉強だけでなく遊んでもいいです。7月28日に大塚へ行きました。その大塚にはたくさんのお店があって、ゴミはどこに落ちていません。たくさん体験をしました。二番目に心に残ったことは愛知県立大学のプログラムのことです。二週間、日本語を学んで、日本語がさらに正確になり、私の日本語は上手です。一生懸命に日本語を勉強してがんばりたいです。

日本の印象は日本に来る前と変わりましたか。

日本の印象は日本に来る前と変わりました。日本に来る前の私の考えでは日本は先進国で、きれいな国だということです。さらに日本文化や日本語などについて学びたいです。二週間、いろいろな場所へ行って見学をしました。エコハウス、トヨタ産業技術記念館、トヨタ自動車本社工場などの見学をしました。日本は環境にやさしいためにすぐ環境をほごしています。そのことはすばらしいと思います。

作成/加藤 2011.07.27

またおめにかかりましょう！ Sampai jumpa lagi！

07月 30日 名前 (ワフユ ウイシノヤレト)

日本で体験したことで、一番心に残ったことを教えてください。
This is my first time I came to Japan. The best experiences in Japan are Japanese very concern with environment and also Japan has an advanced technology. I learned about how Japanese separating the rubbish by the type. Japan has eco house, a place to collect and recycle the rubbish. Japan also developing technology which environment friendly like kinetic. In Japan I saw many technologies, it is very interesting.

日本の印象は日本に来る前と変わりましたか。

Before I came in Japan, I think in Japan dirty, studying, robots, but in Japan I learn more than it. I learn about Japanese habit in their daily lives, like separating rubbish, using eco car and using renewable energy. Japanese very concern with their environment.

Japanese has a high spirit when they doing everything. Their spirit make Japan can be modern country with advanced technology.

作成/加藤 2011.07.27

日本にいる間に、あなたが変わったことがあれば教えてください。

私の変わったことはもちろんあります。日本にいる間にいろいろなことを学びました。毎日見学した時にたくさん体験をしました。特に日本人の捨て方の習慣を勉強しました。日本では環境を守るために、ゴミが分別されています。それをしてみたいけれど気持ちが悪くならないと思います。

それからイトネアで私はいつもオートバイにのっています。けんこうになつて良いと思います。日本にいる間に私はたくさん歩くのが気持ちよくけんこうが良くなると思います。

もう一度日本に来るとしたら、どんなことがしたいですか。

じつは私は日本語があまりできませんので、もう一度日本に来るとしたら日本語を勉強したいです。日本でも日本語を話せることができるなら日本語の資料をさがしたいです。機会があれば愛知県立大学で日本語の勉強をして、研究したいです。そして時間があれば日本での歴史的名場所を見学したいです。

作成/加藤 2011.07.27

アリアワンフアンフイ

日本にいる間に、あなたが変わったことがあれば教えてください。

In Japan I learn a lot knowledge, it inspire me to change Japanese concern with their environment and using technology to save their environment. I want apply it in Indonesia. Japanese has a high spirit when they doing everything but they are humble people, I want to be people like this.

もう一度日本に来るとしたら、どんなことがしたいですか。

If I have a chance to come back Japan, I want continue my study, taking master program. I want study more about technology in Japan. I also want study about Japanese, Japan's culture. I want travelling to another city in Japan, but at first I must study Japanese.

ワフユ

作成/加藤 2011.07.27